

7月11日(土)

制作 J-Theater

2015

12:00~14:00 受付開始11時30分~

レクチャー&演劇ワークショップ 対象：中学生以上

「三島の戦後と『近代能楽集』」

講師 川口典成 (文化庁主催・日本近代戯曲研究セミナー東京 総合プロデューサー)

15:00~16:00 受付開始14時30分~

リーディング「熊野」

三島由紀夫作 近代能楽集より

監修 和田喜夫 (日本演出者協会・理事長)

演出 小林拓生 (日本演出者協会・国際部)

出演 白玉さゆり (東京ハイビーム)

小木珠実 栗山寿恵子

望野哲也 小林拓生

能管演奏 やすだまこと

13:00~15:30頃 受付開始12時30分~

三島由紀夫 リーディング「道成寺」

三島由紀夫作 近代能楽集より

演出 宮田慶子 (新国立劇場演劇芸術監督)

出演 瑛川哲朗

川口高志 山崎薫 峰崎亮介

荒巻まりの 坂川慶成 滝沢花野 永澤洋

IV アフタートーク 宮田慶子 × 松本 徹 × 佐藤秀明

(三島由紀夫文学館館長) (近畿大学教授)

参加費：無料

会場 山中湖村公民館

山梨県南都留郡山中湖村山中 448  
TEL 0555-62-4386

お問合せは、三島由紀夫文学館までお願いします



お申し込み方法

個人情報につきましては、第三者への開示、提供、または目的以外の使用等は、ご本人の承諾を得た場合を除き、一切いたしません。

電子メール、FAX、往復ハガキのいずれかで、

1) 住所、2) 氏名、3) 電話・FAX番号、4) 参加をご希望のイベント番号(複数可)を必ず明記の上、三島由紀夫文学館までお申し込みください。(メール・FAXは7月10日締切。往復ハガキは、7月3日必着)

① 7月11日 レクチャー&演劇ワークショップ

② 7月11日 リーディング「熊野」

③ 7月12日 リーディング「道成寺」・アフタートーク

なお、複数名でお申し込みの場合もそれぞれの、

1) 住所、2) 氏名、3) 電話・FAX番号、4) 参加をご希望のイベント番号の明記をお願いします。

※ 受付は先着順。人数に余裕がある場合は当日参加も可能です。 ※ 未就学児童のご参加はご遠慮させていただきます。

※ お申し込みには必ず返信いたしますので、4日以上(往復はがきは7日以上)経っても返信がない場合は、再度お問い合わせください。

お問合せ・お申し込み先

三島由紀夫文学館 〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野 506-296  
TEL 0555-20-2655 FAX 0555-20-2656 メール info@mishimayukio.jp  
ホームページ http://www.mishimayukio.jp

山中湖文学の森 三島由紀夫文学館

入館料：大人500円、高校・大学生300円、小中学生100円※10名様以上から団体料金(50円引)※三島由紀夫文学館、徳富峰峰館 両館共通チケット・開館時間：10時~16時30分(入館は16時まで)  
休館日：月曜日(祝祭日の場合はその翌日)、12月29日~1月3日、資料点検日(不定期)※4月28日~5月6日の間は月曜日も開館 主催：山中湖文学の森 三島由紀夫文学館・山中湖村教育委員会

レクチャー&演劇ワークショップ

# 「三島の戦後と『近代能楽集』」



レクチャー  
講師 **川口 典成**

(文化庁主催・日本近代戯曲研修セミナー東京 総合プロデューサー)

演出家。ピーチャム・カンパニー代表。東京大学思想文化学科宗教学宗教学史学専修課程卒業。同大学院宗教学宗教学史学修士課程修了。2009年にピーチャム・カンパニーを旗揚げ。2012年11月に『美しい星』（原作：三島由紀夫）、2015年3月に『対話篇 美しい星』を上演。  
現在、日本近代戯曲研修セミナー 東京の総合プロデューサーを務める。

## 7月11日(土)

リーディング「**熊野**」

監修 和田喜夫 (日本演出者協会・理事長)

出演 白玉さゆり (東京ハイビーム)

小木珠実 栗山寿恵子

望野哲也 小林拓生

能管演奏 やすだまこと

—あらすじ—

大実業家である宗盛の愛人、ユヤは豪勢なマンションで暮らしていた。ある桜のさかりの頃、宗盛に花見に誘われるが、ユヤは、故郷北海道の母親が病氣のため、一刻も早く駆けつけたいと宗盛に頼む。しかし宗盛は許してくれない。そこへ隣室に住む朝子が現れ、ユヤの母親からの手紙を持って来る。そこには娘に会いたい心情が切々と綴られていた。それでも花見へ誘ってくる宗盛を何とか説得し、やっと帰郷を許され、ユヤが部屋を出ようとしたその時、故郷にいるはずの母マサが入ってきた…

演出 **小林 拓生**

1997年にシェイクスピアカントリーパークのオープニングをプロデュース。2002年からJ-Theaterを主宰、下北沢を中心に、シェイクスピア/チューホフ翻案作品、日本人作家シリーズとして近代～現代劇を上演。俳優としても、「NHK 木曜時代劇 風の果て」、「白洲次郎」、「ハゲタカ」、「宇宙戦艦ヤマト」等に出演。CMやナレーションも多数行っている。演劇教育として早稲田大学教育学部、東京経済大学コミュニケーション学部の公開授業、武蔵野美術大学空間演出デザイン科の演技指導。地域劇団や中高生対象のワークショップ等、積極的に取り組んでいる。現在、JTBエンターテインメントアカデミー演技指導講師。



制作 J-Theater

本名 平岡公成

みしまゆきお

## 三島由紀夫

1925年～1970年

10代初期から小説を書き始め、たぐい稀な才能を発揮。学習院を経て、東大法学部卒業。在学中に「花ざかりの森」を出版。大蔵省に任官するが退職し「仮面の告白」で一躍、文壇の寵児となる。以後、小説だけに留まらず、戯曲、評論、役者など多彩な活躍を続けた。また、三島文学は、世界各国で翻訳され、世界中から愛されている。代表作は、「仮面の告白」「潮騒」「金閣寺」「サド侯爵夫人」「豊饒の海」など。

きんだいのうがくしゅう

## 近代能楽集

古典芸能である能を三島が現代化したもの。  
時代を超えて人間の普遍的な部分を表現している作品集である。

## 7月12日(日)

制作 新国立劇場

リーディング「**道成寺**」

出演

瑛川哲朗

川口高志

山崎薫

峰崎亮介

荒巻まりの

坂川慶成

滝沢花野

永澤洋

—あらすじ—

東西の骨董をあつめた大美術店で、今まさにセリが行われようとしている。品は、とある名家から出た、それは大きな洋風衣裳箆筒。金持ちの客たちが値を吊り上げていくところに、清子と名乗る踊り子が突然現れ、その箆筒の恐ろしい由来を語る。清子のかつての恋人と、その名家の夫人との間に起こった不義と、その悲劇的な顔末を。やがて清子は巨大な衣裳箆筒の中に入り、内側から錠をかける…

演出 **宮田 慶子**

1980年、劇団青年座(文芸部)に入団。翻訳劇、近代古典、ストレートプレイ、ミュージカル、オペラ、商業演劇、小劇場と多方面にわたる作品を手がける一方、演劇教育や日本各地での演劇振興・交流に積極的に取り組んでいる。第29回紀伊國屋演劇賞個人賞(『MOTHER』)、第5回読売演劇大賞優秀演出家賞(『フユヒコ』)、98年芸術選奨文部大臣新人賞(『ディアライアー』)、第43回毎日芸術賞千田是也賞・第9回読売演劇大賞最優秀演出家賞(『赤シャツ』『悔しい女』『サラ』)など受賞。新国立劇場では『朱雀家の滅亡』、『負傷者 16人 -SIXTEEN WOUNDED-』、『るつぽ』、『ピグマリオン』、『永遠の一時 -Time Stands Still-』、『三文オペラ』、『海の夫人』等を演出。2010年9月より新国立劇場演劇芸術監督。



【開館時間】 午前10時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

【入館料】

	一般	高校・大学生	小・中学生
個人	500	300	100
団体	450	250	50

## 山中湖文学の森

# 三島由紀夫文学館

〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野506-296

TEL 0555-20-2655 FAX 0555-20-2656

<http://www.mishimayuki.jp/>

【休館日】

月曜日(祝祭日の場合はその翌日)、12月29日～1月3日、資料点検日(不定期)  
※4月28日～5月6日の間は月曜日も開館

【交通のご案内】

路線バス ▶ 富士山駅(富士吉田)から25分、御殿場駅から40分  
文学の森公園前バス停下車 徒歩5分

高速バス ▶ 中央高速バスで山中湖(旭日丘/スターミナ)下車 徒歩15分

マイカー等 ▶ 山中湖ICから国道138号線を山中湖方面へ4km

※団体は10名様以上 ※三島由紀夫文学館、読書斎、両館共通チケット